

第 21 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会 開催案内 第 2 報

第 21 回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会
テーマ：バイオセーフティを取巻く最近の状況

会長 篠原 克明（信州大学繊維学部 特任教授）

ご挨拶

第 21 回目の日本バイオセーフティ学会の総会・学術集会を担当させていただくことになりました。宜しくお願い申し上げます。

会期は 2022 年 12 月 5 日月曜日から 7 日水曜日、東京（戸山サンライズ、新宿区）での開催を予定しております。プレカンファランス半日～1 日間、総会・学術集会 2 日間です。

現時点（2022 年初頭）では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の新たなオミクロン株の流行が続いており、予断を許さない状況です。しかしながら、2022 年の学会開催時には、本感染症が収まり、対面での学会開催ができることを期待しております。

第 21 回目の本総会・学術集会では、学術集会開催時までの知見を基に新型コロナ感染症対策の中間総括として、医療機関における診断・隔離・医療対応、研究・検査機関での検査・研究対応並びに公衆衛生における患者情報・拡散予測や社会的対応について特別講演を企画しております。

COVID-19 対応としては、これまでにない規模のパンデミック感染症対策として、多くの分野で新規かつ多種多様にわたる対応が求められてきました。本特別講演にて、これまでに得られた知見や経験などをご紹介いただき、今後の総合的な感染症対策の参考として頂きたいと思っております。また、これらの感染症対策には、それぞれの現場におけるバイオセーフティの考え方が基本にあることを再認識していただければ幸いです。

また、JBSA といたしましては、昨年 10 月に実験室「バイオセーフティ専門家講習会」を実施いたしました。JBSA「実験室バイオセーフティ専門家講習会」は、実験室バイオセーフティ及びバイオセキュリティの基盤となるバイオリスクマネジメントをはじめ、施設・設備、各種安全装置を理解し、総合的な技術力・技能の取得が目的です。

本学術集会では、それに関連して WHO 実験室バイオセーフティマニュアル 4 版（リスク評価）の教育講演やパネルディスカッションとして、講習会の内容と受講者からのご意見や現場での活用などをご紹介いただく予定です。

さらに、一般演題の募集や、機器・機材展示及び企業からの製品紹介講演も予定しております。多くの方々のご応募をお待ちしております。

COVID-19 の状況にもよりますが、講演の形式は対面を主体としておりますが、リモートによる併用も考えております。

本総会・学術集会が我が国におけるバイオセーフティ発展の重要な機会となることを期待し、一人でも多くの方々に御参加いただくことを祈念いたしております。

開催地：戸山サンライズ （東京都新宿区戸山 1-22-1）

開催日：2022 年 12 月 5, 6, 7 日

- プレカンファランス：バイオリスク管理の進め方（曝露対応に関するリスク評価の実践）

12 月 5 日（月） 11:00～17:00

- 学術集会・総会 12 月 6 日（火） 9:45～17:30、7 日（水） 9:15～17:00

- 理事会・総会 12 月 6 日（火）

理事会 12:10～12:50、総会 13:10～13:40

会長：篠原克明 信州大学繊維学部 特任教授

テーマ：バイオセーフティを取巻く最近の状況

- 特別講演：我が国にける新型コロナウイルス感染症対策
- 教育講演：バイオセーフティにおけるリスク評価
- シンポジウム：バイオセーフティ専門家の要件・責務・役割、
（JBSA におけるバイオセーフティ専門家教育の紹介）
- 一般演題
- 企業展示・製品紹介（プレゼンテーション）

一般演題、企業プレゼンテーション募集締め切り：2022 年 10 月 21 日（金）

参加費：会員 10,000 円 非会員 12,000 円

企業展示・企業プレゼンテーション・講演抄録集広告募集につきましては、JBSA 学会ホームページをご参照ください。

<https://jbsa-gakkai.jp/meeting/index.html>

第21回日本バイオセーフティ学会 総会・学術集会プログラム

会場：戸山サンライズ（新宿区戸山）（同時：Web開催）

2022年12月5日（月）～12月7日（水）

会長：篠原克明（信州大学）

12月5日（月）プレカンファレンス

バイオリスク管理の進め方（曝露対応に関するリスク評価の実践） [11:00～17:00]

モデレータ 伊木繁雄（国立感染症研究所）

12月6日（火）総会・学術集会（1日目）

開会進行 [9:45] 小暮一俊（日立産機システム）

JBSA 総会・学術集会 会長挨拶 [9:50～10:00] 篠原克明（信州大学）

教育講演1 バイオセーフティにおけるリスク評価 [10:00～12:00]

座長 河合康洋（国立感染症研究所）

- 1) WHO 実験室バイオセーフティマニュアル4版におけるリスク評価の考え方とリスク評価トレーニング 伊木繁雄（国立感染症研究所）
- 2) JBSA ガイドラインにおけるリスク評価例 篠原克明（信州大学）
- 3) 現場対応例紹介 黒崎陽平（長崎大学）、矢島美彩子（長崎大学）

総会 [13:10～13:40]

進行 会長 篠原克明

JBSA 委員会活動報告 [13:40～14:20]

進行 JBSA 理事長 北林厚生

- 1) バイオセーフティ専門家制度委員会 北林厚生
- 2) 学術企画委員会 伊木繁雄
- 3) 国際委員会 篠原克明
- 4) 実験室バイオセーフティガイドライン作成委員会、NL 編集委員会 杉山和良

特別講演1 [14:30～17:30]

我が国における新型コロナウイルス感染症対策 I

座長 篠原克明（信州大学）

- 1) 新型コロナウイルス感染症対策の総括（行政的対応を含めて） 賀来満夫（東北医科薬科大学）

- 2) 新型コロナウイルスの変異と病原性 前田健 (国立感染症研究所)
- 3) SARS-CoV-2 ワクチン開発について 長谷川秀樹 (国立感染症研究所)
- 4) SARS-CoV-2 治療薬について 渡士幸一 (国立感染症研究所)

12月7日(水) 総会・学術集会 (2日目)

特別講演2 [9:15~11:30]

我が国における新型コロナ感染症対策 II

座長 前田健 (国立感染症研究所)

- 1) 新型コロナウイルス感染症の拡散 加來浩器 (防衛医科大学校)、金山敦宏 (防衛医科大学校)
- 2) 新型コロナウイルス感染症に対する医療現場の取組み 國島広之 (聖マリアンナ医科大学)
- 3) 新型コロナウイルス感染症に対するPPE 篠原克明 (信州大学)

企業プレゼンテーション [11:30~12:30]

座長 榎田順一 (イカリステリファーム)

シンポジウム1 [13:30~15:30]

バイオセーフティ専門家の要件・責務・役割：(JBSA におけるバイオセーフティ専門家教育の紹介)

座長 黒崎陽平 (長崎大学)

- 1) JBSA 実験室バイオセーフティ専門家制度紹介 北林厚生 ((一社) 予防衛生協会、イカリ消毒株式会社)
- 2) ソフト対応 杉山和良 (国立感染症研究所)
- 3) ハード対応 坂田保司 (山下 PMC)
- 4) 実習紹介 小暮一俊 (日立産機システム)、杉浦彰彦 (イカリステリファーム)

一般演題 [15:45~17:00]

座長 大沢一貴 (長崎大学)

閉会挨拶 [17:00]

篠原克明 (信州大学)

機器展示 [12月6日 10:00~17:00、12月7日 10:00~16:00]